

## ライチ便り No. 48

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2020年12月号～

<http://lychee-club.jp/>

新型コロナウイルスとの悪戦苦闘に明け暮れた今年も、はや師走を迎えました。三密を避けるためになかなか思うような活動ができず、このメルマガの記事に事欠くありさまでした。

そのような中で、今オンラインでの交流など新しいアイデアが若手の会員から出され始め、コロナ禍による沈滞を打ち破る、明るい動きが芽生えています。

このライチ便り48号は本来11月に発行すべきもので、ひと月遅れになりましたが、新年を目前にして、新しい活動の希望を皆さまにお届けできればと思います。

皆さまどうぞ良いお年をお迎えください！

### 本年度も飲茶会を行いました

一時期はコロナ禍で閉鎖されていたアイレフが10月に再会され調理室が使えるようになったのを受け、今年もまた王和雄シェフのご指導を得て、飲茶会を行いました。これが今年度の唯一の活動になりました。

王シェフは、福岡市の中華料理の老舗「福新楼」の料理長で日ごろはお忙しく、毎回火曜日のお休みの日に飲茶会にお付き合いくださっています。今回は3種類の家庭料理に向けた手軽なメニューを考えていただきました。



賞味する時は、全員スクリーンに向かって座り、料理は一人分ずつ小分けにして、話をせずに食べ、スクリーンでは以前広州の友人からプレゼントされていたDVD「広州春秋」上巻を、日本語ナレーションを聞きながら観賞し、広州の歴史を学びました。

## ライチ倶楽部若返りの機運が生まれています

直接広州を訪問したり、日本語研修生を受け入れたりすることが難しい状況の中で、「オンラインを利用した交流を」、というアイデアが福岡市国際部の奥田さん(わが倶楽部の理事の一人)から提案され、吉川理事をはじめ数名の若手会員が、がぜん乗り気になっています。

これまでは千葉事務局長が一人で何とか会の運営を担ってきましたが、オンラインを駆使して…となると荷が重く、お手上げ状態。ここは若い人たちと現代文明の利器に頼るほかないと考え、この機会にわが倶楽部の若返りを図ることにしました。



夢松事務所で6回目の打ち合わせ

幸い奥田さんは広州に派遣されている人ですから、オンラインで頻繁に広州事情をレポートしてくれそうですし、Zoom などを使えば広州の友人たちとも交流が可能です。10月末以来何度も協議を重ねてきましたが、その中でもすでに「子供の交流をしたい！」などの提案がなされています。

ピンチをチャンスに！このコロナ禍の行き詰った状況をチャンスに変えて、新しい活動を組み立てていきましょう。皆さまの積極的なご参画をお願いします。

- 
- \* 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。
  - \* 会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000円 団体：一口10000円
  - \* 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。